



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 日水製薬株式会社

コード番号 4550

URL <https://www.nissui-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 小野 徳哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 斎藤 伸 (TEL) 03-5846-5611

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,129	△24.9	40	△75.9	70	△58.7	39	ー
2020年3月期第1四半期	2,835	△1.0	168	△30.3	170	△34.9	△1	ー

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 120百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 △22百万円 (△112.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	1.76	ー
2020年3月期第1四半期	△0.06	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	34,244	32,061	93.6
2020年3月期	35,203	32,176	91.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 32,061百万円 2020年3月期 32,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	20.00	ー	10.00	30.00
2021年3月期	ー				

(注) 配当予想額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 : 1社 日水製薬医薬品販売株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	22,547,140株	2020年3月期	22,547,140株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	152,723株	2020年3月期	152,692株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	22,394,434株	2020年3月期1Q	22,394,703株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから今回の連結業績予想を未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内外の市場環境は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴う経済活動の自粛および消費の急激な減少や移動制限等の影響により、景気が急速に悪化し、極めて厳しい経済状況となりました。今後も国内外の経済情勢に大きな影響を与えることが想定されることから、先行き不透明な状況となっております。体外診断用医薬品の国内市場においては、同感染症の影響で医療機関への外来患者数・入院患者数が減少しており、医療を取り巻く厳しい環境が見受けられます。また、食品企業等の品質検査の国内市場では、巣籠もり需要により一部増加傾向にある業種もありますが、外食産業や小売業および旅行者向けのお土産品等の製造需要が大幅に減少した事により、一部の工場での大幅な稼働低下が生じる等、厳しい環境が見受けられます。再生医療分野においては、同感染症での臨床治験が開始されるなど、治療法確立のための活動が行われております。

当社グループでは、経営方針として「長期的に持続的成長をする企業」を掲げております。この経営方針の実現に向けて、2ヵ年の中期経営計画の最終年に際し、「利益ある成長」「新たな企業イメージ醸成」「ステークホルダーへの還元」を重要課題として、事業の拡大、原価低減・業務効率化等のコスト削減、異業種テクノロジーの活用を推進しました。国内販売では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴い直接訪問の営業活動を自粛する一方でWebを介した会議・セミナーを実施して、基幹病院や検査センターへの検査機器の営業活動および製薬企業や食品企業への品質検査試薬の営業活動を展開しました。なお、新たに発売をしました2019新型コロナウイルス検出試薬キット（株式会社島津製作所）については、売上に寄与しており、引き続き迅速かつ安定した供給体制を図り同感染症収束の貢献に努めてまいります。海外販売については、海外渡航が制限されている状況において、Webを介した会議を実施して海外代理店とコミュニケーションを強化すると共に、培養されたコロニーをAWS（Amazon Web Service）クラウドとAI（人工知能技術）を利用して簡易にカウントできるWebサービス「@BactLAB」を用いた菌数測定用乾式簡易培地「Compact Dry®」の拡売を推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期に比べ7億5百万円(24.9%)減少し21億29百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は前年同四半期に比べ1億27百万円(75.9%)減少し40百万円、経常利益は前年同期に比べ1億0百万円(58.7%)減少し70百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ40百万円増加し39百万円となりました。

なお、当社は、2020年4月1日付で、当社の肝臓加水分解物事業を連結子会社の日水製薬医薬品販売株式会社に承継させたうえで、日水製薬医薬品販売株式会社の当社保有株式すべてをゼリア新薬工業株式会社に譲渡しました。今期より当社グループの事業は単一セグメントとなったため、セグメント別の記載を省略しております。現在の当社単体での経営成績（売上高・営業利益）は以下のとおりとなります。

(参考) 単体経営成績 (2020年4月1日～2020年6月30日) (%)は対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
2021年3月期 第1四半期	2,129	△8.2	46	△70.0
2020年3月期 第1四半期 (注)	2,320	△0.5	154	△39.7

(注) 2020年4月1日付で譲渡した肝臓加水分解物事業を除いた売上高・営業利益になります。

<研究開発活動等>

研究開発活動等について、新たなビジネス創出の機会として、将来有望と考えられる研究プロジェクトや独創的かつ萌芽的なアイデアなどを早期に発掘し、共同研究また実用化に通じる創成を目指す日水製薬オープンイノベーションプログラム「NeyeS」（エヌアイズ）において、2019年度末に採択した施設との共同研究を開始しました。また、臨床検査市場向けに、検査室のニーズを考慮した2種の濃度のセット包装及び開封が容易なスクリーキャップ採用した精度管理用凍結プール血清「L-サイトロール Plus」の販売を開始しました。今後も検査室のニーズを満たす試薬の提供に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ9億59百万円(2.7%)減少し342億44百万円となりました。主な増加は現金及び預金8億43百万円、関係会社預け金14億17百万円、投資有価証券5億11百万円によるもので、主な減少は受取手形及び売掛金12億77百万円、有価証券4億31百万円、商品及び製品4億39百万円、建物及び構築物6億34百万円、土地8億67百万円によるものです。

なお、肝臓加水分解物事業の分割及び連結子会社の株式譲渡に伴う減少は現金及び預金8億35百万円、受取手形及び売掛金8億34百万円、商品及び製品5億61百万円、建物及び構築物6億20百万円、土地8億67百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ8億44百万円(27.9%)減少し21億82百万円となりました。主な減少は買掛金1億67百万円、未払法人税等1億45百万円、未払消費税等82百万円、賞与引当金1億34百万円、関係会社株式売却損失引当金2億16百万円、流動負債その他(未払費用)1億42百万円、繰延税金負債53百万円によるものです。

なお、連結子会社の株式譲渡に伴う減少は買掛金1億15百万円、未払法人税等48百万円、未払消費税等30百万円、賞与引当金37百万円、流動負債その他(未払費用)74百万円、繰延税金負債53百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円(0.4%)減少し320億61百万円となりました。

この結果、自己資本比率は93.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

次期の見通しにつきまして、国内外ともに新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の減速により、景気動向は不透明な状況となっております。このような現状のもと、当社グループとして合理的根拠のある将来予測は立てられない状況であると判断し、次期の業績予想は未定といたしました。今後、合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

なお、当社が販売を開始しました新型コロナウイルス検出試薬については、迅速かつ安定な供給体制を図り同感染症収束の貢献に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,462	4,305
受取手形及び売掛金	3,404	2,127
有価証券	431	—
商品及び製品	1,409	970
仕掛品	305	262
原材料及び貯蔵品	808	794
関係会社預け金	18,496	19,913
その他	216	233
貸倒引当金	△32	△1
流動資産合計	28,503	28,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,359	725
機械装置及び運搬具（純額）	380	374
土地	2,985	2,118
リース資産（純額）	15	10
建設仮勘定	61	71
その他（純額）	159	121
有形固定資産合計	4,962	3,420
無形固定資産		
ソフトウェア	73	73
リース資産	13	9
ソフトウェア仮勘定	8	3
その他	6	5
無形固定資産合計	101	92
投資その他の資産		
投資有価証券	1,296	1,808
繰延税金資産	45	48
その他	326	266
貸倒引当金	△32	—
投資その他の資産合計	1,636	2,123
固定資産合計	6,700	5,637
資産合計	35,203	34,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,460	1,292
リース債務	29	20
未払法人税等	164	18
未払消費税等	101	19
賞与引当金	168	34
役員賞与引当金	19	5
関係会社株式売却損失引当金	216	—
その他	432	411
流動負債合計	2,592	1,803
固定負債		
退職給付に係る負債	2	1
リース債務	1	0
繰延税金負債	53	—
長期預り保証金	372	372
その他	4	3
固定負債合計	434	379
負債合計	3,027	2,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	22,415	22,219
自己株式	△100	△100
株主資本合計	32,143	31,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	115
為替換算調整勘定	—	△0
その他の包括利益累計額合計	33	114
純資産合計	32,176	32,061
負債純資産合計	35,203	34,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,835	2,129
売上原価	1,571	1,267
売上総利益	1,263	862
販売費及び一般管理費	1,095	822
営業利益	168	40
営業外収益		
受取利息	17	18
受取配当金	4	5
業務受託料	—	7
デリバティブ評価益	—	15
その他	3	4
営業外収益合計	25	51
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	20	20
投資有価証券売却損	—	0
デリバティブ評価損	2	—
為替差損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	23	21
経常利益	170	70
特別利益		
持分変動利益	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産処分損	5	0
投資有価証券評価損	128	1
特別損失合計	133	1
税金等調整前四半期純利益	48	68
法人税、住民税及び事業税	8	3
法人税等調整額	41	25
法人税等合計	50	29
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1	39
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	39

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1	39
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	80
為替換算調整勘定	—	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	△20	81
四半期包括利益	△22	120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22	120
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 1社

会社名 Nissui Pharma Solution

Nissui Pharma Solution社は、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、2020年4月1日付で日水製薬医薬品販売株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 非連結子会社の数 該当事項はありません。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した非連結子会社の数 該当事項はありません。

(2) 持分法を適用した関連会社の数 2社

会社名 セルジェンテック株式会社

日本テクノサービス株式会社

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,332	502	2,835
セグメント利益	346	52	398

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	398
全社費用(注)	△230
四半期連結損益計算書の営業利益	168

(注)全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

当社は2020年4月1日付で、医薬事業を営んでいた日水製薬医薬品販売株式会社の全株式をゼリア新薬工業株式会社に譲渡しております。そのため、当第1四半期連結会計期間より当社グループは診断薬事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

会社分割及び重要な子会社の株式の売却

当社は、2020年4月1日を効力発生日として、当社の診断薬事業の一部である肝臓加水分解物事業を当社の連結子会社である日水製薬医薬品販売株式会社(現 健創製薬株式会社。以下、「医薬品販売会社」という。)へ会社分割(吸収分割)の方法により承継した上で、医薬品販売会社の当社保有株式全てをゼリア新薬工業株式会社(以下、「ゼリア新薬」という。)に譲渡いたしました。

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称	当社の診断薬事業の一部である肝臓加水分解物事業
事業の内容	肝臓加水分解物の製造及び販売

(2) 企業結合日

2020年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収分割会社とし、医薬品販売会社を吸収分割承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

日水製薬医薬品販売株式会社

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

重要な子会社の株式の売却

1. 売却の理由

当社は、利益ある成長を目指すとともにポートフォリオの見直しを進めており、主力事業である診断薬事業の更なる成長に向けて投資を強化していく方針を掲げております。今後の医薬品販売会社及び肝臓加水分解物事業の成長戦略を検討する過程において、ゼリア新薬の傘下で事業運営にあたるのが、医薬品販売会社の一層の成長・発展に資するとの判断に至り、当社の肝臓加水分解物事業を医薬品販売会社に承継した上で医薬品販売会社の当社保有株式全てをゼリア新薬へ譲渡いたしました。

2. 売却する相手会社の名称

ゼリア新薬工業株式会社

3. 売却の時期

2020年4月1日

4. 当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

名称	日水製薬医薬品販売株式会社（現 健創製薬株式会社）
事業内容	薬局・薬店向け医薬品、健康食品の製造、販売ならびに輸出入
当社との取引内容	製商品の売買等

5. 売却する株式の数、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率

売却株式数	5,000株（所有割合：100%）
売却価額	3,300百万円
売却損益（注）	（連結）△216百万円 （個別）135百万円
売却後の持分比率	－%

（注）売却損相当額については、前連結会計年度において関係会社株式売却損失引当金を計上しております。